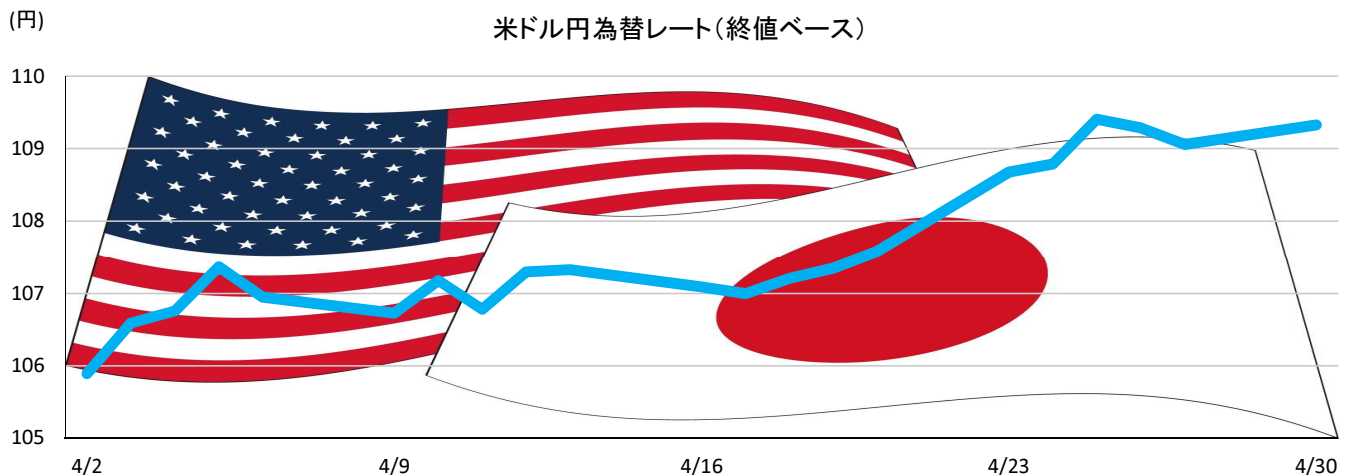


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 4月のドル円相場は、105円後半～109円半ばで推移。月初は米中貿易戦争懸念からNYダウが下落、リスク回避のドル売りとなった。その後、米中貿易戦争懸念が落ち着いてきたところ、シリア問題が浮上。中旬には日米首脳会談も行われたが、いずれもそこまで大きく材料視されることがなく、様子見ムードに。その後、注目された南北首脳会談に向けて、北朝鮮が核実験とICBM発射実験中止、核実験場も廃棄と報じられたことから、北朝鮮の融和姿勢を材料にドル買戻しの動きに変わった。なお南北首脳会談後の会見では、非核化等について具体的な言及がなかったが、市場への影響はあまり見られなかった。



EXTRA VISION

今後の展開: 注目された南北首脳会談において非核化に言及されなかったものの、米朝首脳会談に向けて、北朝鮮が融和ムードを演出していることを考えると北朝鮮リスクはある程度落ち着いてきた。ただ実際に米朝首脳会談までは良くも悪くも情報が飛び交う可能性もあり、短期的な値動きには注意が必要だろう。また米中貿易戦争懸念は一時的に落ち着いてはいるものの、根本的な解決にいたっておらず、さらに対米黒字が中国について多い日本も、展開次第では色々と影響が出てくるしれない。今後の米国、中国の動向には気をつけておきたい

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
5 / 25 (金)	17 : 30	GB	英GDP改定値	☆☆☆☆
5 / 30 (水)	21 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
6 / 1 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
6 / 7 (木)	18 : 00	EU	欧州GDP改定値	☆☆☆☆
6 / 14 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
6 / 14 (木)	21 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
6 / 15 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。